

28 公益信託日本動脈硬化予防研究基金研究助成金報告書

研究代表者名：北風政史¹

共同研究者名：朝倉正紀¹、長谷川拓也¹、浅沼博司²、金 智隆³、友池仁暢⁴、石井善智⁵、奥本陽子⁶、伊藤結美⁷

施設名：国立循環器病センター¹、京都府立医科大学²、金循環器内科医院³、榊原記念病院⁴、伊万里有田共立病院⁵、有田町健康福祉課⁶、ヒュービットジェノミクス（株）⁷

【進捗報告】

佐賀県有田町旧西有田地区で実施された平成16年度(2004年)住民健康診査を対象にベースライン調査を実施した。平成17年(2005年)度以降、脳・心血管疾患の発症調査を調査票にて実施しており、更に2012年度までの予後調査の進捗は以下の通りである。

追跡対象者は2004年集団健診受診者(JALS登録者)ならびに2008年以降、健診を受診した全同意者4841名である。

調査方法は定期健診受診者に対しては、健康診断受診時の問診票(既往歴、現病歴)による聞き取り調査ならびに健診受診時に追加問診において、受診状況並びに新規に発症した脳・心血管疾患、発症時期、受診した病医院、主治医、疾患発症時の処置(手術、投薬の有無)、ならびに薬物治療施行例について、自己申告情報をまとめた。また服用薬剤に関しては可能な限り薬剤の持参を依頼し薬剤名、一日量、コンプライアンスを確認し、薬剤情報(手帳など)の持参も依頼しその確認を行った。

また研究上の必要性から受診病医院への病状の問い合わせを行うことに関しても文書による同意を得た。健康診査を受診した者への問診は、健診会場において、有田共立病院の内科医、看護師ならびに有田町健康福祉課の保健師が行った。また、健康診断を受診しなかった者については、郵送アンケートを送付し、返信が無い場合には、有田町健康福祉課の保健師及び看護師が電話での聞き取りまたは直接訪問を行った。

2012年3月段階での追跡調査は健診受診者、健診未受診者ともに実施し、発症調査に関しては自己申告による脳・心血管疾患の新規発症が疑われる者は1,393名中、異動者、死亡者を除く1,273例について調査を完了した。

また、国保加入者に関しては2008年度以降のレセプト情報から毎年5月時点での医療機関受診状況を確認、医療機関受診者の疾患、受診先のうち、有田町医師会に所属する病医院における調査をおこなった。

発症調査に関する原因調査、詳細調査に関しては、健康福祉課ならびに健診協力機関の協力により、伊万里有田共立病院ならびに有田町内の医院、嬉野医療センターについては、必要情報を抽出する作業が終了した。今後、抽出情報を元に確定診断の検討会を国立循環器病センターで実施する。

また、ベースラインの登録者のうちまた特定健診の実施により職域健診へ移行した対象者に関しては、各事業所から健康診断受診病医院(有田町では主に蒲池医院)を確認し、受診施設の協力を得て、詳細情報を収集したが、未確定情報が多く、現在、それぞれの職域健診及び健康診断を実施した医院において個別情報を収集している。

2012年3月時点での追跡状況は以下の通りである。

1) ベースライン登録者：1,393名

- 2) 転居：61名
- 3) 追跡開始からの死亡数 97名 発症の疑いがあるもの 58名
- 4) 調査手法：有田町が実施する特定健診（国保）及びがん健診への参加希望調査票と同封にて発症調査票を送付。参加希望調査票と同時に返送を依頼する。※返送が無い場合は保健師による電話聴取を実施。特定健診参加者については、問診時に発症について更に聴取りを行う。